

6 全国豊かな海づくり大会を兵庫で開催します

「全国豊かな海づくり大会」は、海や川などの環境保全や水産業の振興を目的に毎年行われている国民的行事。今年も明石市で開催し、豊かな海の再生に取り組む兵庫を全国にアピールします。県民の皆さんが参加できる関連行事として、「豊かな海づくりフェスタ2022」や各地サテライト会場でのイベントも。ぜひこの機会に兵庫の海の魅力を体感してください。(第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会事務局)



大会テーマ: 広げよう 碧く豊かな 海づくり

11月12日(土)、13日(日)

主なイベント

- ▶ 豊かな海づくりフェスタ2022(県立明石公園)
 - 12日(土): さかなクントークショー、シゴセンジャーショーなど
 - 13日(日): 「海づくり大会」の中継、さかなのおにいさんかわちゃんトークライブなど
- ▶ サテライト会場(13日(日)のみ)
 - 妻鹿漁港 ぼうぜ鯖まつり(姫路市)
 - ぼうぜ鯖の刺身の振る舞い、魚とのふれあいコーナーなど
 - 浜坂漁港 浜坂みなとカニ祭り(新温泉町)
 - カニ汁の振る舞い、麒麟獅子舞のステージなど
 - 道の駅「あわじ」 淡路水産まつり(淡路市)
 - 淡路島3年とらふぐのてっさの振る舞い、パネル展示など

※全会場共通: 「海づくり大会」の中継、地元特産品の販売

※タイムテーブルなど詳しくは大会公式ホームページへ

第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会事務局
078-362-9291 078-362-4023

第41回全国豊かな海づくり大会



7 漂着ごみの内訳を調査しごみを出さない対策につなげます

9月下旬に世界約100カ国で漂着ごみの回収と調査を行う「国際ビーチクリーンアップ」。この活動に賛同し、1991(平成3)年から須磨海岸のごみのデータ化に取り組んでいる「クリーンアップ関西事務局」(神戸市)の共同代表、原賢治さんに海洋ごみの現状などについて聞きました。(取材・文 本紙編集部)



国際ビーチクリーンアップとは。アメリカの環境保護団体が始めた取り組みで、私たちは9月下旬の世界一斉デーの他、4月にも活動しています。回収したごみを規定の50種類に分け、そのデータを基に業界団体へごみを出さないための改善策などを提言しています。

最も多いごみの種類は。

長い間たばこのフィルターでしたが、



今年の秋の活動は10月2日に実施。ホームページ等で募集した53人が参加しました。

ここ10年はプラスチック破片に変わりました。わずか数ミリの破片でも、魚が餌と間違えて食べてしまうと生態系に悪影響を及ぼします。

環境保全のために私たちができることは。「自分のごみは自分できちんと処分する」という意識を持つことです。何気なく捨てた小さなごみは風に飛ばされ側溝へ転がり、やがて海へ流れます。一人一人の「これくらいなら…」という軽い気持ちで海洋汚染を招くのです。

クリーンアップ関西事務局

1991年発足。春と秋の須磨海岸での調査に加え、不定期で但馬海岸や県外でも実施。30年間の活動が評価され、2021年度の「地域再生大賞」の優秀賞を受賞。

クリーンアップ関西事務局

※活動報告や調査スタッフの募集など詳しくはホームページへ

8 日本で最も多くの言葉が分かるトドです



これも技の一つです。

城崎マリンワールドの雌のトド「ハマ」(13歳)は、「人間の言葉が分かる」と人気を集めています。一般的に水族館のトドは飼育員のハンドサイン(身振り手振り)とボイスサイン(言葉)に反応して技を披露しますが、ハマは8年前、飼育員の声の指示だけで「敬礼」をしたことからボイスサインによるトレーニングを本格的に開始。21種類の言葉を認識できるようになった2018(平成30)年、全国海獣技術者研究会で発表したところ、「日本で最も多くの言葉を聞き分けられるトド」と認められました。「他のトドよりも記憶力が格段に優れ、現在は50種類まで理解しています。近いうちに60種類に到達するでしょう」と飼育員の堤和樹さんは期待を寄せます。(取材・文 本紙編集部)



新しい技を覚えるため、毎日午前と午後20分ずつトレーニングに励んでいます。

城崎マリンワールド 豊岡市瀬戸1090
0796-28-2300 0796-28-3675

城崎マリンワールド

※トドのショーは1日4回。詳しくはホームページへ